

令和6年10月1日

各報道機関 御中

青森県総合政策部統計分析課

令和6年度青森県統計グラフコンクールの審査結果について

県では、統計の普及と表現技術の向上を目的として、標記コンクールを毎年実施しています。今年度については45点の応募があり、審査員による厳正なる審査を行った結果、別紙のとおり入賞作品が決定しましたので、お知らせします。

また、下記により表彰式及び作品の展示を行いますので、当日の取材及び報道につきましても特段の御配慮をよろしくお願いいたします。

記

1 入賞作品

別紙「令和6年度青森県統計グラフコンクール 審査結果」のとおり

2 表彰式等

- (1) 名称 第63回青森県統計大会
- (2) 日時 令和6年11月14日(木) 13:00～
- (3) 場所 弘前市 弘前文化センター

3 作品展示

別紙「令和6年度青森県統計グラフコンクール入賞作品展(予定)」のとおり

| 報道機関用提供資料  |   |
|------------|---|
| 担当課<br>担当者 | 統計分析課 管理・普及グループ<br>副参事 大和田 敏<br>主事 山内 衣里奈 |
| 電話番号       | 内線：2177、2183<br>直通：017-734-9164           |
| 報道監        | 総合政策部 次長 後村 文子                            |

## 令和6年度青森県統計グラフコンクール 審査結果

「青森県統計グラフコンクール」は、県民の皆様に統計と親しんでいただき、統計の表現技術の向上を目的として、青森県教育委員会の後援を得て、青森県と青森県統計協会が共催しています。令和6年度は6部門に、45点の応募がありました。

審査の結果、知事賞2点、入選7点、佳作5点、青森県統計協会会長賞1点、奨励賞2点の入賞作品、2校の指導優良校及び3校の奨励校が決まりました。

### [第1部] 小学校1・2年生の作品

| 賞           | 表 題            | 学年 | 氏 名                   | 学 校 名     |
|-------------|----------------|----|-----------------------|-----------|
| 佳作          | やりたい べんきょう しらべ | 1  | おさか たける<br>尾坂 健成      | 青森市立合浦小学校 |
|             |                | 1  | ささき れん<br>佐々木 蓮       |           |
|             |                | 1  | にいやま とあ<br>新山 叶空      |           |
|             |                | 1  | やまがみ たつき<br>山上 達希     |           |
|             |                | 1  | ささき ゆうき<br>佐々木 悠貴     |           |
| 統計協会<br>奨励賞 | すきな あそび しらべ    | 1  | あきた こうし<br>秋田 剛志      | 青森市立合浦小学校 |
|             |                | 1  | さとう あけひ<br>佐藤 明陽      |           |
|             |                | 1  | しもやま あん<br>下山 杏       |           |
|             |                | 1  | やまぐち せいいちろう<br>山口 征一郎 |           |

### [第2部] 小学校3・4年生の作品

| 賞  | 表 題                        | 学年 | 氏 名              | 学 校 名     |
|----|----------------------------|----|------------------|-----------|
| 入選 | 2とびの8<br>みんな、どんな数え方をするのかな？ | 3  | くどう あいり<br>工藤 愛梨 | 青森市立合浦小学校 |

### [第3部] 小学校5・6年生の作品

| 賞           | 表 題                  | 学年 | 氏 名               | 学 校 名     |
|-------------|----------------------|----|-------------------|-----------|
| 知事賞         | 子どもころから対策！短命県返上      | 6  | なかむら かりん<br>中村 果鈴 | 青森市立篠田小学校 |
|             |                      | 6  | おの さくら<br>小野 咲空   |           |
| 入選          | すいみん時間を増やして健康的な生活を！！ | 6  | なら うた<br>奈良 謡     | 青森市立篠田小学校 |
|             |                      | 6  | あべ かなん<br>阿部 奏音   |           |
|             |                      | 6  | しまづ みさき<br>嶋津 美咲  |           |
|             |                      | 6  | さいとう ゆう<br>齊藤 優羽  |           |
| 佳作          | みんなで楽しく体力アップ！！       | 6  | くどう あかり<br>工藤 あかり | 青森市立篠田小学校 |
|             |                      | 6  | あきと みゆ<br>秋元 心優   |           |
| 統計協会<br>奨励賞 | すいみんで心と体をすこやかに       | 6  | いわた このか<br>岩田 采乃佳 | 青森市立篠田小学校 |
|             |                      | 6  | わだ かのん<br>和田 華音   |           |

**[第4部] 中学生の作品**

| 賞   | 表 題                            | 学年 | 氏 名                | 学 校 名         |
|-----|--------------------------------|----|--------------------|---------------|
| 知事賞 | 青森の魅力を世界へ<br>ーインバウンド消費から学ぶヒントー | 2  | たけうち すい<br>竹内 翠依   | 弘前大学教育学部附属中学校 |
|     |                                | 2  | ひがくほ のあ<br>日ヶ久保 乃愛 |               |
| 入選  | あなたは知っている？今、海に起きていること          | 3  | いぶき もも<br>伊吹 百萌    | 弘前大学教育学部附属中学校 |
| 入選  | 迫る！！2025年問題と私たちの未来             | 2  | やまぐち ひづき<br>山口 緋月  | 弘前大学教育学部附属中学校 |

**[第5部] 小中学生のパソコン統計グラフの作品**

| 賞     | 表 題                              | 学年 | 氏 名                | 学 校 名         |
|-------|----------------------------------|----|--------------------|---------------|
| 統計協会賞 | 救急車はタクシーじゃない！                    | 2  | せきかわ みさき<br>関川 美紗貴 | 八戸市立東中学校      |
|       |                                  | 2  | とさき しおり<br>戸崎 滋央里  |               |
| 入選    | 青森県の「地産地消」                       | 3  | むろや さくら<br>室谷 桜花   | 弘前大学教育学部附属中学校 |
| 入選    | 都道府県別甲子園勝利数と部員数<br>～人数が多ければ強いのか～ | 1  | むろや ゆうせい<br>室谷 悠惺  | 弘前大学教育学部附属中学校 |
| 佳作    | 空き家問題の現状を知っていますか？                | 3  | はまぐち いたる<br>浜口 達   | 八戸市立東中学校      |
|       |                                  | 3  | はしもと れんと<br>橋本 蓮斗  |               |
| 佳作    | 青森県の収入と人口減少                      | 3  | でがい みと<br>出貝 美透    | 八戸市立東中学校      |

**[第6部] 高校生以上の作品（手描き・パソコン）**

| 賞  | 表 題                            | 学年 | 氏 名             | 学 校 名         |
|----|--------------------------------|----|-----------------|---------------|
| 入選 | ヘルメット着けていますか？<br>～ヘルメット着用率の現実～ | 3  | ごとう みゆ<br>後藤 美悠 | 青森県立弘前高等学校    |
| 佳作 | 子宮頸がん予防について<br>～ワクチンと検診で防ごう～   | 2  | さかい さえら<br>境 彩来 | 八戸聖ウルスラ学院高等学校 |

**[指導優良校]**

- ・青森市立篠田小学校
- ・八戸市立東中学校

**[奨励校]**

- ・青森市立合浦小学校
- ・八戸市立白銀南中学校
- ・青森県立木造高等学校





# 「青森の魅力を世界へインバウンド消費から学ぶヒントー」



弘前大学教育学部附属中学校 2年  
竹内 翠依さん、日ヶ久保 乃愛さん

### きっかけ

最近 インバウンドという言葉がよく耳にする。コロナウイルスも落ちついた中で、旅行業界が活発化しており、青森でも外国人観光客を見かけるようになった。だが、首都圏ほどその数は多くない。青森の魅力を世界へ発信するためにどうすればよいのか疑問に思った。

### インバウンドとは

本来インバウンドには「入ってくる・内向きの」という意味があるが、インバウンド消費・インバウンド需要・インバウンド観光・インバウンド対策など様々な言葉があり、どれも外国人が日本へ旅行することという意味をもつ。この言葉は2010年代はじめから使われるようになった。私達はそこから、外国人が日本国内で消費するインバウンド消費に焦点をあてて調べてみることにした。

### 2023年国別訪日外客数

| 国         | 人数                | 割合          |
|-----------|-------------------|-------------|
| 韓国        | 2,067,000人        | 27.8%       |
| 台湾        | 1,212,000人        | 16.3%       |
| 中国        | 1,116,000人        | 14.9%       |
| 米国        | 723,000人          | 9.7%        |
| 香港        | 211,000人          | 2.8%        |
| その他       | 2,000,000人        | 26.5%       |
| <b>合計</b> | <b>7,500,000人</b> | <b>100%</b> |

## 青森の魅力を世界へ

### インバウンド消費から学ぶヒントー

### 訪日外国人旅行者の推移

訪日外国人旅行者の推移のグラフを照らし合わせてみると同じような動きをしている。2023年は史上最高記録を塗り替え、日本人気になってきていることがこのグラフからも読みとれる。

### 訪日外国人旅行者消費額の推移

このグラフを見ると日本が、高い人気を誇っていることがわかる。実際何回もさむる外国人観光客が多いと思う。各都道府県に特産品や伝統工芸品などの魅力があるため、何回でも来るといえるのだと思う。

### 訪日外国人旅行者消費額の国別構成比

| 国   | 割合    |
|-----|-------|
| 韓国  | 28.4% |
| 台湾  | 21.5% |
| 中国  | 20.1% |
| 米国  | 12.8% |
| 香港  | 2.8%  |
| その他 | 14.8% |

### 青森の魅力を世界へ発信するために

① SNSでの情報発信  
青森県の観光での定番スポットから穴場スポットまで、詳しい情報を定期的に発信する。世界中の人が閲覧できて青森県に興味を持ってもらえる。

② 外国の方の受け入れ支援  
青森県の在留外国人数は1%にも満たない。たくさんの方の移住を支援することで、外国の方に親しみをもちてもらえて、より青森県の魅力が世界に広がっていくと思う。

### まとめ

インバウンド消費という視点から青森県の魅力を世界へ広める方法を考えた。日本や外国人旅行者数が増えていることや日本ならではの和食や工芸品、お祭りなどに興味を持っている人が多いことがわかった。これらのことから、日本人気になっていくと感じた。しかし観光客の増加は首都圏が中心であることに気づいた。これからは魅力を発信する機会が増えてたくさん観光客が青森に来てくれるとうれしい。わたしたちができることもあると思うので行動に移していきたい。

## 【講評】

青森県内でも見かけるようになった訪日外国人観光客を中学生の視点で捉え、分析した結果を分かり易くまとめている点や、調べた内容を適切なグラフを用いて表現している点を高く評価したい。外国人観光客の増加は、多くの経済分野で波及効果が高いこと。訪日目的が「もの」から「する」へ変化していること。これらを踏まえた上で、訪日外国人観光客に青森県の魅力をどのように発信すべきかを考察し、具体的な方策までも提案している点に注目したい。

また、この作品は二人の共同制作であるが、内容の配置バランスが非常に良く、統一感もある。チームワークの良さが見る者に伝わってくる秀作である。

(評：青森県統計グラフコンクール審査員 佐藤 浩正)





# 「救急車はタクシーじゃない！」

八戸市立東中学校 2年  
関川 美紗貴さん、戸崎 滋央里さん

## 救急車はタクシーじゃない!

### 【動機】

よくポスターやニュースで救急車の使い方が悪いということについてのものを見るから。  
救急車が近くにいないと遠くから来ることになった事例を聞いたことがあるから。

### 【予想】

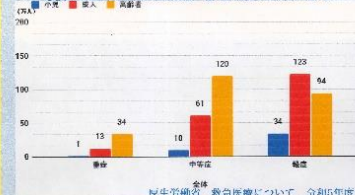
救急車の出動数は年々増加していて、緊急性の無い通報の割合も増加している。



### 救急車を呼ぶときの判断基準は？

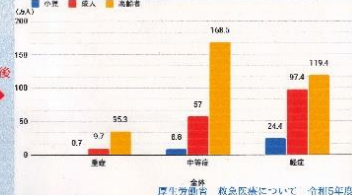
皆さんは『#7119』を知っていますか。怪我や体調を崩したとき、「この症状で救急車を呼んでもよいのか」と判断に迷ったときには『#7119』を利用すると緊急性の高いときには救急車の要請を、またそうでないときも受診できる医療機関はどこか等を案内してくれます。必要な時には是非利用してください。

(1) 緊急搬送人数 (平成22年)



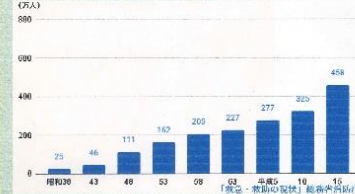
平成22年に比べ令和2年は高齢者が軽症で運ばれる割合が高い!

(2) 緊急搬送人数 (令和2年)



軽症なのに救急車を呼ぶ理由には病院で待つのが面倒だった。指を切った。なんでももあるそうだ。このままの出動件数が増えれば救急車の有料化も近いかもしれない。

(3) 搬送人員と年代



搬送人員は年々増加傾向にある!

(4) 搬送人員と緊急出動件数



救急車の出動件数が年々増える原因の一つと考えられるのが高齢化だ。高齢になると、救急車を利用することが多くなるからということだ。

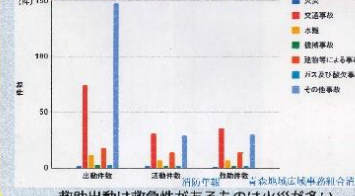
搬送人員よりも出動率の方が多い!

### 救急医療体制の現状



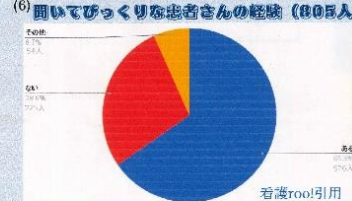
青森県は東北6県平均に比べて施設が少ない

### 青森県は東北6県平均に比べて施設が少ない



救助出動は救急性があるものは火災が多い

### これで救急車呼んだの!?



救急車を本来の用途以外でよばれやすい

### 【まとめ】

・救急車が不要なものにもかかわらず呼ぶと救急隊員たちの負担が多くなる。そして本当に救急車が必要な重症者が利用することができなくなり、亡くなってしまいかも。だからタクシーの代わりに使わず、利用が必要かどうかをしっかりと判断し呼んでほしい。  
・もし救急車を呼んでいかなかったときは#7119を利用すると症状に合わせた対応してくれる。青森県でも、令和6年8月1日に#7119がスタートしている。迷ったときはぜひ利用してほしい。



### 【講評】

地域の限られた医療資源である救急車について、出動件数が増加傾向にあることから、救急車を有効活用する重要性を分かりやすく伝えていきます。特に、緊急搬送人数の変化の比較に、棒グラフの特徴を効果的に生かしたクロス集計を用いて、「年」×「傷病の程度」×「小児、成人、高齢者」の観点で、表現している点が評価できます。救急医療体制の変化に伴う課題解決に向けて、「#7119」の利用を訴えるテーマ性とグラフ表現に優れた作品です。

(評：青森県統計グラフコンクール審査員 相馬 伸吉)

## 令和6年度青森県統計グラフコンクール入賞作品展（予定）

令和6年度の入賞作品（佳作以上、奨励賞は含みません）の展示を行います。  
※いずれも入場は無料です。

|    |  |
|----|--|
| 場所 | 弘前文化センター                                   |
| 日時 | 令和6年11月14日（木） 第63回青森県統計大会<br>12時30分～15時30分 |

|    |   |
|----|---|
| 場所 | 青森県総合社会教育センター（1階 ロビー）                           |
| 日時 | 令和6年12月2日（月）～令和7年1月6日（月）<br>9時～19時<br>※初日は13時から |

|    |  |
|----|--|
| 場所 | ヒロロスクエア（3階 イベントスペース）                             |
| 日時 | 令和7年1月10日（金）～令和7年1月13日（月）<br>9時～21時<br>※初日は13時から |

|    |  |
|----|--|
| 場所 | 八戸ポータルミュージアム はっち（2階 ギャラリー2）                      |
| 日時 | 令和7年1月24日（金）～令和7年1月26日（日）<br>9時～21時<br>※初日は13時から |